

茂原市防災講演会を開催

自助、共助、公助が一体となった防災体制の構築には、地域コミュニティにおける共助による防災活動の推進が重要です。地域防災力の向上を目指し、講師を招き防災講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

◆日時

2月27日(土) 15時30分～17時30分(開場15時)

◆場所

市民会館

◆演題

「災害に備える！家庭と地域の役割～自主防災組織の立ち上げから活動まで～」

◆講師

防災・危機管理アドバイザー
(防災システム研究所所長)
山村 武彦氏



◆定員

350人程度(入場無料・申し込み不要)

お問い合わせは、

総務課防災対策室(4階)

☎(20)1519、FAX(20)1602へ。



防災行政無線による音楽放送(夕焼け小焼け)が17時になります

防災行政無線による夕方の音楽放送(夕焼け小焼け)について、2月1日より放送時間を16時から17時に変更し放送します。

お問い合わせは、総務課防災対策室(4階)
☎(20)1519、FAX(20)1602へ。

市長が行く

市民の要望について

No.77

茂原市長 田中豊彦



私の任期も残すところ3カ月余りとなりました。波乱含みで出航した「茂原丸」の舵取りも、やっと順風に乗れるかどうかというところで、もう一つ二つ荒波を超えなければという覚悟を新たにしております。

今までの約8年の任期の中で、市民の方々からは、様々なご要望やご意見をいただきました。自分も可能な限りそれに応えようと頑張ってきたつもりです。がしかし、法律上の問題、財政の問題など、色々な壁が立ちふさがり、なかなか進んで行かない現実があります。市民の皆様からのご提案は、大変参考になるものも多かったですし、条件が合えば進めていきたい事柄も多くありました。私も同じような考えを持っていたというようなことも少なくありません。

一つ二つ例を挙げれば、ま

ずは、看護師の問題について。看護師が足りないので、看護学校を旧茂原工業高校の跡地か、あるいは長生病院に作りました。これについては、私が県議会議員をしているときにも検討したのですが、市原市鶴舞に看護学校があり、そこが定員を満たしていないという中で、新たな看護学校を作るのは無理ですと県から言われた経緯があります。

また、商店街の活性化について。これもことあるごとに様々な方から何とかならないかと言われます。しかし、商店街の方々も後継者の問題、郊外型の店舗の台頭はどう対応するかなど、それぞれに様々な問題を抱えており、効果的な解決策を模索しているのが現状です。

茂原発の色々な商品を開発したらというご意見。茂原市

観光協会の協力のもと、モバリンのバッジやTシャツ等、七夕関連の商品の開発等努力はしています。市章が、ある企業のマークに似ているので、ネクタイやハンカチの試作品も以前作ったこともありすが、日の目を見ずに終わったこともありま

老人や子どもに優しいコンパクトシティについて。様々な企業の誘致について。大きな市民ホールの建設について。まだまだたくさんあります。私も常に茂原の活性化のために、何か仕掛けていこうと思っておりますが、いまだ600億円の負の資産を抱える現状に、大胆な施策が打てないでいるのも事実です。それでも、創意と工夫で、市民の皆様がより良い市民生活を送れることを目指して、少しでも前向きな施策を打っていきたく思っております。